

例会報告



- 例会日 毎週金曜日 12:30~13:30
- 例会場 高山市花里町3-33-3 TEL 34-3988
- 大垣共立銀行 高山支店 4F
- 会長 遠藤 隆浩
- 幹事 垣内 秀文
- 会報委員長 長瀬 達三

第2604回例会 令和元年12月13日
出席・プログラム委員会

＜会長の時間＞

8日の日曜日にビッグアリーナで行われたスポーツ少年団の大会に我クラブの賛助金を持って行ってまいりました。来賓席の前を、プラカードを持った各少年団が行進をしていきましたが、私がかつて所属していた柔道少年団が前を通ったときには思わず目頭が熱くなりました。あの頃は少年ながらもいろいろなことを考えていたものです。スポーツ少年団の目的はスポーツを通じて心と体を鍛えることです。心をきたえるのはなかなか大変だと思いますががんばっていただきたいものです。



＜幹事報告＞

◎ガバナーより

- ・2022-2023年度ガバナーノミニの推薦について
推薦締切日 2020年1月31日
提出先 地区ガバナー事務所「地区指名委員会」

◎第7回日台ロータリー親善会議福岡大会実行委員会より

- ・第7回日台ロータリー親善会議福岡大会の宿泊プラン提案について

◎飛騨地区生徒指導連絡強化委員会より

- ・令和2年度版「あつたか言葉かけ運動カレンダー」の送付について

◎高山市子ども会育成連絡協議会より

- ・「創立60周年記念式典・高山市子ども会大会」の開催について
日時・会場 12月22日(日) 高山市文化会館
第1部 午前10時～ 第2部 午後1時30分～
第1部 小ホール 第2部 大会議室(4-7)

＜出席報告＞

	出席者数	会員数	出席率
本日	33名	41名	80.49%

＜本日のプログラム＞ 出席・プログラム委員会

委員長 黒木 正人

本日ゲストにお招きしたのは、十六総合研究所 主任研究員の田代 達生 様です。

田代さんは岐阜市出身で、京都大学を卒業後十六銀行に入行。柳ヶ瀬支店を皮切りに本部等での勤務を経て、2017年の8月から十六総研飛騨國サテライトに着任されています。飲み代の代わりに日頃より色々知恵を授けてもらっている、十六時代からの私の唯一の一番弟子でもあります。

出席・プログラム委員会として、皆さんが例会に出席できる状況を作る参考として頂きたく、今叫ばれている「働き方改革」について、お話しさせていただきます。田代様、よろしくお願ひ致します。



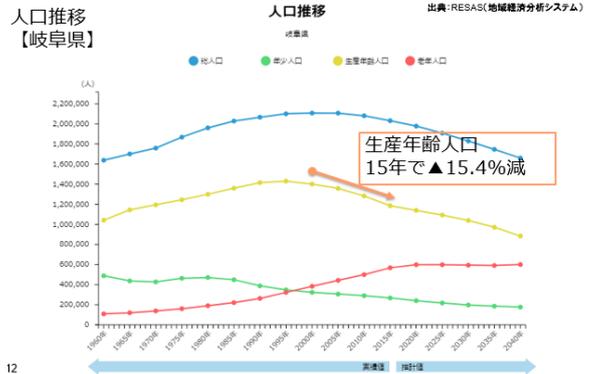
「人手不足」と「働き方改革」

～ 飛騨の企業に取り組んでいただきたいこと～

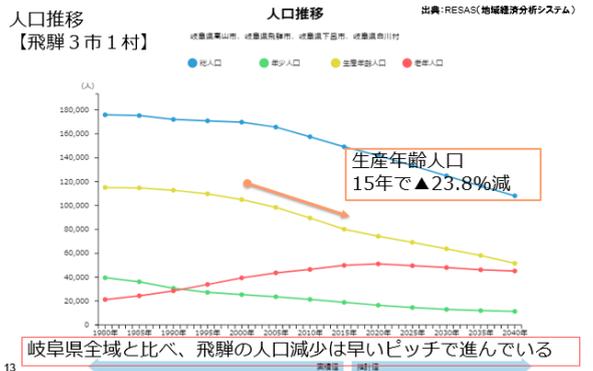
十六総合研究所 リサーチ部 主任研究員 田代 達生 様

昨今「働き方改革」が叫ばれているが、これは都会の問題ではなく、人手不足が不可逆的に、しかも都市よりもより速い速度で進行している飛騨地域でこそ取り組まねばならない問題である。飛騨地方には通勤圏というものが無いため、労働需給の変化が価格(＝時給)に直結しやすく、昨年では外食チェーンでアルバイト時給1500円で募集する店舗も現れた。岐阜県全域では、年間およそ▲1%の割合で生産年齢人口(15～64歳人口)が減ってきているが、飛騨地方はその1.5倍の速度である、年率▲1.5%の割合で生産年齢人口が減る。

人口推移【岐阜県】



人口推移【飛騨3市1村】



岐阜県全域と比べ、飛騨の人口減少は早いピッチで進んでいる

例会報告

また、女性や高齢者の労働参加率ももともと高いうえ、飛騨地方は平成 27 年の国勢調査時点で失業率は、完全雇用水準とされる 3%をすでに割り込み、2%近傍となっていることが統計で明らかとである。

すなわち、人口減少による「供給制約」と観光・製造業を中心とする「需要増加」が同時に起き、人口減少先進地、といえるような状況となっている。

また今後においても、生産年齢人口が回復する局面は少なくとも今後数十年はないため、今すぐ9時—5時フルタイムで働ける人は地域のどこにも余っていない、と認識すべき状況である。

このような情勢では、経営者は過去の常識を捨て、「人口ボーナス期」への意識改革が必要である。

人口ボーナス期

- ・主に男性が働く
重工業、肉体労働が中心
- ・なるべく長時間働く
時間が成果に直結
- ・条件の同じ人をそろえる
労働者の代えがきく
転勤・残業できる社員を残す
条件に合わない場合は足切り

人口オーナス期

- ・なるべく男女ともに働く
頭脳労働が中心
性別を問わずフルに活用
- ・なるべく短時間で働く
賃金が高騰、短時間で成果を出す働き方へ
- ・多様な人材を揃える
女性・高齢者・育児・介護・障がい者等、多様な人が働ける職場環境を整備

21 過去の価値観にとらわれない意識変革が必要

飛騨高山の企業に具体的に取り組んでいただきたいことは、働き方改革に関する各種認定制度の取得に挑戦していただくことである。認定制度は、認定制度は役所の所管ごとにあるのでわかりにくい、大きく以下の3つの系統に分かれる。

- ① 「ワークライフバランス」：岐阜県が提唱
- ② 「働き方改革」：厚生労働省が提唱
- ③ 「健康経営」：経済産業省が提唱

特に岐阜県のワークライフバランス推進エクセレント企業認定制度は、事業所数が 5000 近くある高山市の認定企業がわずかに3社（しかもうち2社は金融機関であり、実業は1社のみ）しかない。事業所数が 1000 余りしかない飛騨市に認定企業がすでに5社あること考えると、高山の企業はあまりに自己PRができていないといえる。ぜひ、ロータリー会員の中から、こうした認定取得に取り組むことを、各社それぞれ自分事として検討していただきたい。

①岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業 登録・認定制度

■岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進企業登録制度（旧：岐阜県子育て支援企業）
：企業努力を約する登録だけでOK

■岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業認定制度（旧：岐阜県子育て支援エクセレント企業）
：県の審査が必要

- ・高山市（3社）：高山信金、飛騨信組、ロビン
- ・飛騨市（5社）：東洋、飛騨ダイカスト、アルプス薬品工業、ユアソフト、吉城福祉会
- ・下呂市（1社）：秋原北醫院

<ニコニコボックス>

●遠藤 隆浩さん、垣内 秀文さん

本日のゲスト十六総合研究所 主任研究員 田代 達生さんのご来訪を歓迎致します。卓話を楽しみにしております。また、先日日曜日に松本市にて行われた吟道大会に参加された詩吟サークルの皆様、3位入賞おめでとうございます。血の滲む様な練習が実を結んだ(?)との事で、我がクラブの歴史の1ページに刻まれる事でしょう。更なるご活躍を期待申し上げます。

●黒木 正人さん

今日の出席・プログラム委員会の担当例会では、私の十六銀行時代の半会社的勢力の一番弟子である、十六総合研究所の主任研究員の田代さんに卓話をお願いしました。田代さんは私の知恵袋のような存在で、その見返りに私が生きている限りは、飲みに行くときは全て御馳走するという契約を結ばされています。今日は一風変わった視点での卓話をお楽しみください。

●井上 正さん

十六総合研究所の主任研究員の田代 達生 さん、先般はすみれフォーラムでご講演いただきありがとうございました。

●堺 和信さん

昨日、高山3RCの次年度会長が集まり、それぞれのクラブの課題や次年度へ向けての事業計画などの話し合いをしました。その中で感じたのは、中央さんは二度目のガバナー輩出へ向けて前回ほどは一枚岩になっていないことや、高山さんは何となく楽そうであると思いました。我がクラブはメンバー不足により予算組が大変であると感じています。これからも情報交換していきたいと思えます。

●新井 典仁さん

昨日は親睦委員会「新年家族例会打ち合わせ会」お疲れ様でした。カラオケ大会での皆さんの歌声を楽しみにしております。審査員として公平公正に努めたいと思えます。

●米澤 久二さん

12月20日クリスマス家族例会、多数出席予定して頂きありがとうございます。まだまだ出席受けまますのでよろしくお願ひします。またSAA皆様、会務委員会の皆さまお世話になります。

●鴻野 幸泰さん

先日は結婚記念日にプレゼントを頂き誠にありがとうございました。早速二人で新しいカップでコーヒーをいただきました。

●下屋 勝比古さん

12月12日長男が入籍しました。一人除籍完了。

●岡田 賛三さん

大家家具が救われました!!

●平 義孝さん、斎藤 章さん、井辺 一章さん、垣内 秀文さん、

田中 晶洋さん、萱垣 敬慈さん、OB 脇本 敏夫さん

令和元年12月7日に行われた松本深志岳風会第47回吟道退会で、輪声教室が3位に入賞いたしました。輪声教室は高山西RCの趣味の会として長い歴史を持っています。月2~3回の練習日を設け、とても楽しい雰囲気です。ぜひ皆様の入会をお待ちしております。体験入会も随時受け付けております。なお本日もご入会いただくと、入会特典としてもれなく新年会からご参加いただけます。

●狭土 貞吉さん

①田中晶洋さん萱垣さん、今回の詩吟大会おめでとうございます。凄い!!②今日で例会場での今年の例会は終わるので、皆様無事故で年末、明るい正月を!!

●伊藤 松寿さん、田近 毅さん、新井 典仁さん、

本日は正月事始めの日。12月13日は「鬼住日（きしゆくにち）」といい、婚礼以外は万事大吉。この日に門松やお雑煮をたくための薪など、お正月に必要な木を山へ取りに行く習慣があったそうです。また、すす払い、松迎えの日とも言います。